

令和7年度事務事業評価表

事務事業名	会員増強活動			担当課	企画総務課	事業種別	自主事業
				担当係	企画総務係		
開始年度	昭和 37 年度	計画体系	4「わがまち葛飾」を実現するための組織をつくります ⇒ (3)財政基盤の強化				
根拠法令等	福祉協力委員会規程						
事業区分	事業	社会福祉	拠点	法人運営事業	サービス	調査・研究・企画・広報事業	
事務事業目的	組織の強化と社協財源の確保のため、地区福祉協力委員会や関係団体等の協力を得て、会員の増強及び会費を募る活動を行う。						
実施内容	<p>【会員増強活動】 毎年7月から12月を会員増強期間と位置づけ、19地区ごとに設置されている福祉協力委員会を開催する。福祉協力委員会は、地域の自治町会役員、民生委員・児童委員などが中心となり、社協事業への協力と普及宣伝、福祉情報の収集・提供、組織強化や会費の取りまとめの協力など、地域住民とのパイプ役を担っている。 福祉施設・障害者団体などの各種団体や企業、区役所などに会員加入の協力依頼を行っている。</p> <p>【会費の種類】 特別会員：1口10,000円から 正会員：1口1,000円から</p> <p>【福祉協力委員数】 761人（R7）</p> <p>【協力依頼】 現会員に対し会員継続依頼のハガキの発送を行っている。ハガキは、各地区福祉協力委員会時に手渡し、福祉協力委員の活動時期に合わせた発送を行っている。</p>						

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
成果	会費	—	円	目標	18,500,000	18,500,000	18,500,000
				実績	14,862,000	14,246,000	13,675,000
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

備考	
----	--

コスト内訳(千円)		R4	R5	R6
収入	特定財源	0	0	0
	一般財源 (a)	6,531,832	7,336,666	7,228,360
支出	事業費 (b)	3,393,432	3,394,666	3,185,360
	職員人件費 (c)	3,138,400	3,942,000	4,043,000
	業務量(人)	0.40	0.50	0.50
	間接費 (d)	0	0	0
	調整額 (e)	0	0	0
	退職給与引当	0	0	0
		0	0	0
	(控)コスト対象外	0	0	0
トータルコスト (f=b+c+d+e)	6,531,832	7,336,666	7,228,360	

単位当たりコスト(円)	R4	R5	R6
単位の定義	会員数(人)		
実績数値 (g)	7,464	7,206	6,922
単位あたり社協単コスト (a/g)	875,111	1,018,133	1,044,259
単位あたりコスト (f/g)	875,111	1,018,133	1,044,259

実施状況に対する評価	<p>会員会費については、福祉協力委員及び会員の高齢化や社会の変容とともに、増強・収納活動が徐々に厳しくなっている。そのような中、自治町会長や民生委員等の区民が福祉協力委員として会員会費を募り、社会福祉協議会の財源獲得のため活動する活用意義は大きい。</p>
今後の方向性【改善】	<p>19地区の福祉協力委員会等による継続的な会員増強活動を行っているが、会員の高齢化等もあり、会員数、会費納入額ともに減少傾向が続いている。この減少に歯止めをかけるためには、次世代を担う若年者へ引き続きSNSの活用方法を工夫した社協のPRを行い、社協の存在や事業活動及び会費の用途をもっと知ってもらう取組を進める。</p> <p>加えて、既存の現金納付、郵便局振込用紙での納付の他、時代に即したキャッシュレスによる納付を検討し、新規会員の入会誘いに繋げる。</p> <p>個人会員、法人会員の区別はしていないが、法人会員は長い継続支援をしているところもあるため、新規開拓を含め法人会員増強を図っていく。そのために、法人にとって何らかのインセンティブが働くような仕掛けづくりを検討する。</p>